



社会医療法人智徳会

未来の風せいわ病院

地域医療連携室ニュースレター

No.49 令和7年11月発行
〒020-0401
盛岡市手代森9-70-1
電話番号 019-696-2055
FAX 番号 019-696-4185

ごあいさつ



副院長
佐々木 浩行

平素より当院の運営にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

ご存じの通り現在、日本は超少子高齢多死社会を迎えています。厚生労働省や文部科学省の統計では、1989年児童のいる世帯が46.3%から、2024年は16.6%と急減する一方、子ども達のいじめは、2013年約18万件から、2024年73万件に急増(うち小学生59万件)、不登校は12万人から35万人、自殺者数は330人から529人と急増しています。ストレスを抱えて不適應となり、やがて自ら命を絶ってしまうという悪循環が、少ない子ども達の中で起こっています。当院でも子どもの受診が、10年間で26%から36%に増加しており、年々増加しています。以前に比べて、人との関わりが希薄になり、悩みをAIに相談するという話も聞かれます。子どもたちの痛み、心の声を聞くことが急務になっている中、絵本の読み聞かせや体験を通して子ども達の「心の力」を育む教育実践が幼稚園、保育園、小学校で始まっています。

世界は今、激動の時代を迎えています。医療・介護分野でも今年、団塊の世代が75歳以上となる2025年問題が始まっており、医療・介護福祉制度も大きく激変しています。前途多難な時代を迎えておりますが、今後も地域の皆様と協力して、地域医療、福祉に一層尽力してまいりますので、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

基本理念

すべてのひとがいいきと自分らしく生きていける地域社会づくり

8つの基本指針

1. 私たちは、常に笑顔絶やさずことなく最高のサービスを提供します
2. 私たちは、「ひとの心の痛み」に涙する。温かく深い人間性と豊かな感性を磨きます
3. 私たちは、いのちの尊厳と基本的人権を尊重します
4. 私たちは、社会的使命をもってよりよい地域社会づくりに努めます
5. 私たちは、職業人として技術と資質の向上に努めます
6. 私たちは、よりよい職場づくりのために対話と相互理解に努めます
7. 私たちは、共に働く仲間たちに感謝し、自らの仕事に誇りを持って働きます
8. 私たちは、高い志をもち、我が国を代表する病院・施設づくりに努めます

トピックス

■ギャンブル依存症 家族ミーティング（Lighthouse）の取り組み

今年度5月より、当院に通院されている（通院予定を含む）ギャンブル依存症の患者様のご家族を対象としたプログラムLighthouseを発足しました。「Lighthouse」は灯台を意味する言葉です。ギャンブル依存症回復治療プログラム「Voyage」（航海）に取り組む当事者の道を明るく照らし、未来へと導くために私たちにできることを共に考えていくことを願って名づけました。

Lighthouseでは、アメリカで開発されたCRAFT（Community Reinforcement And Family Training:コミュニティ強化法と家族トレーニング）をもとにしながら依存症の知識と対処法を身につけることを目指しています。プログラムの前半は、テキストを基にしたグループディスカッションを通して知識と経験の共有を行い、後半の座談会では困っていることや悩んできたこと、他の家族への質問、プログラムを学んでからの変化などを語り合います。

参加者からは、しばしばこれまで家族のギャンブルや金銭的な問題を相談できる場所がなく、責任が家族に向けられることもあり、家族自身が疲弊し傷ついてきた経験が語られます。そのためLighthouseでは、安心して自身の想いを話してもらい、同じような経験をしてきた他のご家族の中で共感され、受け止められる経験も大切にしています。また、本人や家族がVoyageやLighthouseを続ける中での良い変化や、上手くいった関わりが共有されることは、他の家族にとって、問題に対する方向性を指し示す光ともなっています。ギャンブルの問題に直面するご家族同士がともに照らし合い、困難な時期を乗り越えることを支える場にしていきたいと思っています。

チラシ



テキスト



会場の様子



～参加者の感想～

- ・対応について改めてこれでいいんだなと思う面ともしっかりとこうしていこうと思う面とありました。自分自身のことも大切にしていかなくてはなと思いました。
- ・他の家族さん方と同じ気持ちを共有できることがホット出来ました。
- ・自分の話をする機会があって、ちょっとしたストレス発散になったと思う。

■ギャンブル依存症 当事者ミーティング（New me）の取り組み

ギャンブル依存症プログラムVoyageはR5年4月から始まり今年で3年目を迎えました。当初の参加者は数名でしたが、今では20名を超える仲間が集まりプログラムに取り組んでいます。

令和7年6月から、Voyage終了後にも仲間同士で安心安全に語り合える場所として、『当事者会 New me』を毎月開催しています。当初はプログラム終了した方を対象にしていたましたが、今は卒業生に限らず、Voyage参加中の方・参加予定の方、ギャンブルでお困りの方が気兼ねなく参加できる居場所となっています。

“New me”という名前は「新しい自分」「航海(Voyage)をして新しい自分に出会う」という意味が込められており、当事者メンバー達が考えました。これから参加者がたくさん集まることを期待し、スポーツやイベント活動等様々な活動を行っていく予定です。これまでに、ARASHI(アラーシー：依存症問題を抱える人のための治療的要素を含んだ嵐を呼ぶカードゲーム)やSeRA(セラ：依存の問題を抱えた女性の回復を支援するためのワークブック)、フリートーク等に取り組みました。活動内容は参加メンバーで話し合いながら決めています。New meは当事者が主体の場所です。仲間と集い、航海を続けながら新たな自分に出会いませんか？

チラシ



ARASHI SeRA



参加中の様子



～新規の受診・入院相談～

019-696-2055 にお電話下さい。

相談時間 平日：9:00～16:00

FAX:019-696-4185

初診・再診の予約制を実施しております。電話対応した事務員に地域医療連携室とご指定ください。はじめての受診・入院相談は地域医療連携室がお受けいたします。受診の際には、下記URLから患者紹介FAX申込書を別途ダウンロードしてお使いください。

URL：<https://mirai-seiwa.com/chiikiiryorenkei/iryokikan>

外来担当医

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
新患担当	小野医師		千葉医師	佐々木(浩)医師 菊地医師 鈴木医師	佐藤医師	再診のみ 第1・第3 佐々木(浩)医師
再診担当	菊地医師 鈴木医師		佐々木(浩)医師	智田医師 小野医師		第2・第4 智田医師

診療時間

月曜日～金曜日	8:30～17:00
土曜日	8:30～12:00
休診日	日曜・祝日・お盆(8/14～16)・年末年始(12/29～1/3)

病院へのアクセス



社会医療法人智徳会

未来の風せいわ病院

〒020-0401 岩手県盛岡市手代森9-70-1

TEL：019-696-2055(代)

FAX：019-696-4185

<https://mirai-seiwa.com>

バス

●長岡線・日詰駅前行き

盛岡駅（5番）発又は盛岡バスセンターより乗車、手代森ニュータウン北口降車（約20分）バス停より徒歩5分

●日赤経由・ふれあいランド経由川久保線、乙部線手代森ニュータウン南口行き又は乙部行き

盛岡駅（5番）発盛岡バスセンター経由、手代森ニュータウン北口降車（約20分）バス停より徒歩5分

●中央線・都南の園営業所行き

盛岡駅（5番）発盛岡バスセンター経由、手代森ニュータウン入口降車（約30分）バス停より徒歩3分



車

●盛岡駅から車で20分
（国道4号・396号経由 水門バス停過ぎ左折後、500m左側）

●東北自動車道 盛岡南ICから車で15分
（県道36号・国道396号経由 同上）

※無料駐車場完備